

令和3年度 島根県学力調査結果及び分析（松江市立鹿島中学校）

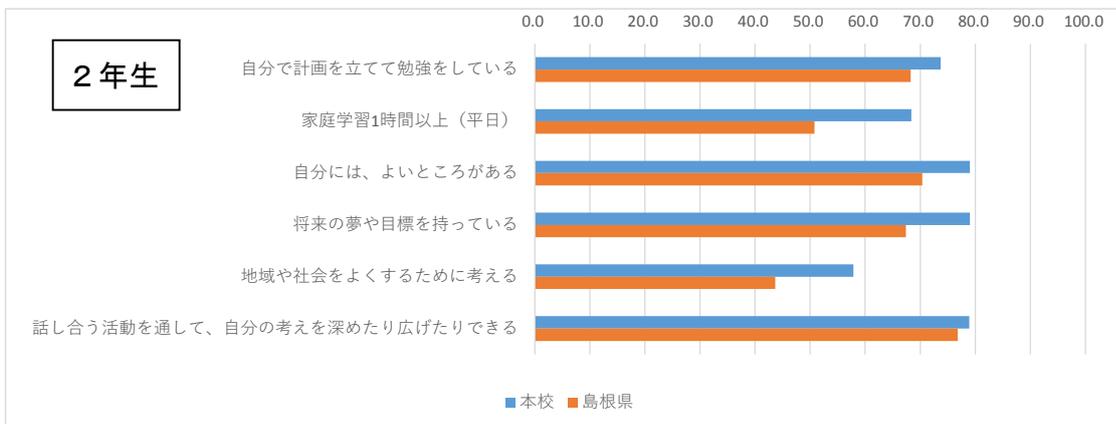
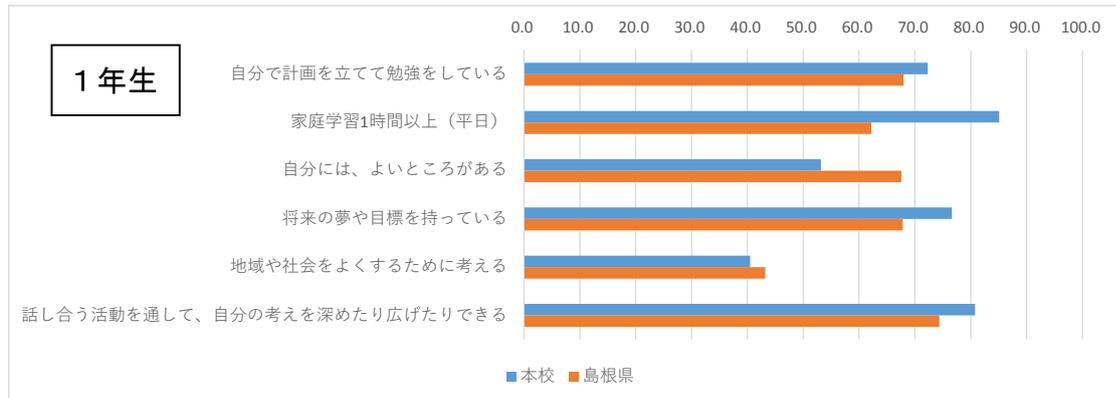
(1) 学力調査結果から見られた成果と課題(○:成果 ●:課題)

1 年 国 語	○漢字の読み書きや、文章を読み取り、必要な情報に着目して内容を理解する力が定着している。 ○予習、復習をしている生徒の割合が県平均より高い。 ●自分の考えを明確にして文章を書く力がやや弱い。短作文や課題作文に取り組む頻度を増やす。	2 年 国 語	○漢字の読み書き、文章を読み取る力は概ね良好である。 ○授業の取り組みも概ね良好である。 ●文章から情報を読み取り、自分の考えを明確にして文章にする力がやや弱い。短作文や課題作文に取り組む頻度を増やす。
1 年 数 学	○すべての領域で基礎が定着している。 ○文章問題を式や図に置き換えて考える生徒が多い。 ●宿題や予習をする生徒の割合が県平均より低い。生徒が自力で取り組める教材の工夫や個に応じた評価を行うことで学習意欲を高める。	2 年 数 学	○「数と式」の領域において正答率が県平均より高い。 ○分からないことを質問している生徒が多い。 ●日常的問題を数学的に説明することに課題がある。普段の授業においてペアやグループで説明できるような場面をつくる。
1 年 英 語	○聞き取りの動作と時刻の理解、様々な英文の読み取りが県平均より高い。 ●語形・語法の理解が県平均より低い。 ●長文の内容理解、要点を捉える得点が県平均より低い。基本的な英単語・連語・基本文を繰り返し、習得できるよう取り組む。	2 年 英 語	○聞くことについては、継続的に行っているsmall talkなどの成果が出つつあり、全般的に正答率が県平均より高い。 ●語彙力は身に付きつつあるが、読む力や書く力に十分につながっていない。特に、まとまった内容を説明するなど書く活動について、県平均より低く、今後取り組んでいく。

(2) 生活意識調査から見られた成果と課題(○:成果 ●:課題)

1 年	○自分で計画を立てて学習している生徒の割合が高い。また9割近い生徒が家庭学習の習慣が身につけている。テスト計画表の活用や、毎日取り組んでいる自主学習ノートの成果だと考えられる。 ●自己肯定感が低く、県平均に比べて大きく下回っている。生徒同士が関わる場を多く設定していく。	2 年	○「自分にはよいところがある」、「将来の夢や目標を持っている」と肯定的に答えた生徒の割合が県平均と比べて高い。住んでいる地域への愛着が高い傾向にある。 ●就寝時間・テレビの視聴時間のコントロールができていない生徒が半数近くいることが課題である。メディアに触れる時間について、継続的に指導を行う必要がある。
--------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(3) 意識調査(教育委員会として注目している項目のうち、全国学力・学習状況調査と同様の質問項目を挙げています)



【受検者数】 1年生 47名 2年生 38名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。